

保護者様

北九州市立松ヶ江南小学校
校長 上 杉 良 子

平成29年度本校教育活動についてのアンケート(学校評価)の結果について

余寒の中にも、日差しの暖かみを感じられる季節になってまいりました。

保護者の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、1月に配布しました「平成29年度本校教育活動についてのアンケート(学校評価)」に、多くの保護者の方々がご記入くださり、ご提出いただきましたことに深く感謝申し上げます。本校の教育活動改善のために、たくさんの貴重なご意見を頂戴しました。それらを集約し、下記のようにまとめました。

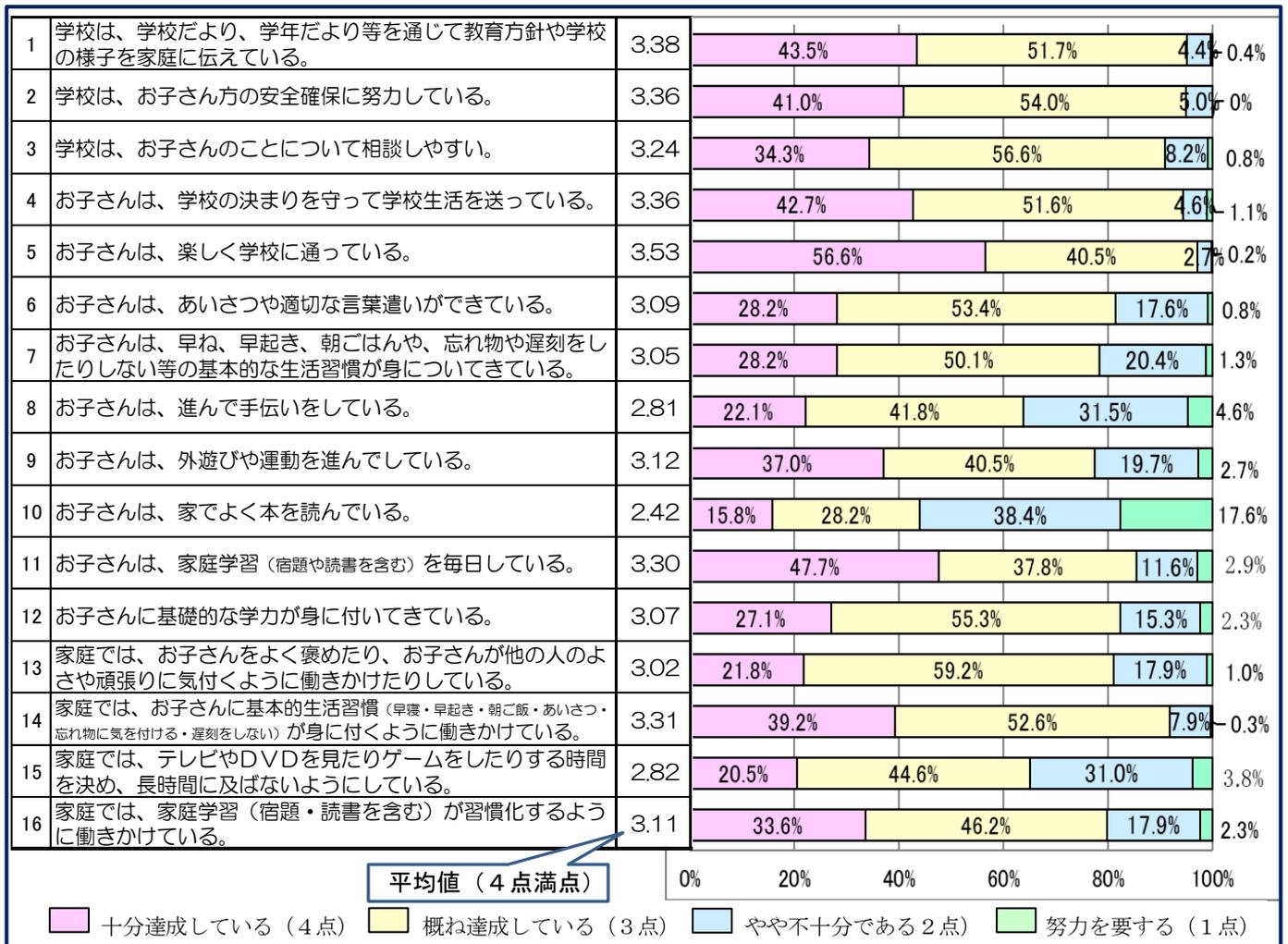
皆様方からいただいたご意見は、多岐にわたっておりましたため、重複した内容や個別にご返答すべき事柄等、掲載してないご意見もあります。予めご了承ください。

「平成29年度本校教育活動についてのアンケート(学校評価)」や学校評議員会でいただいたご意見を参考に、松ヶ江南小学校のよりよい学校教育の推進に役立ててまいりたいと考えます。今後とも、ご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

記

1. 評価項目の集約結果

「平成29年度本校教育活動についてのアンケート(学校評価)」項目別集計結果



問1「学校は、学校だより、学年だより等を通じて教育方針や学校の様子を家庭に伝えている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は95.2%で、今後も積極的に情報を発信し、ご理解とご協力が得られるように努めてまいります。

問2「学校は、お子さん方の安全確保に努力している。」について

本年度新たに設けた項目です。「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は95.0%で、今後も校内の安全点検や環境整備、通学路の安全確認、校区内の危険箇所等に関する情報収集・情報発信、安全指導に努めたいと思います。登下校時につきましても、保護者や地域の方々に、安全指導や見守りにご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。学校も、教師が交代で定期的に校区の交差点で交通指導を行うとともに、私も毎朝3か所の交差点を中心に交通指導をしています。何かお気づきのことがありましたら、お知らせください。

問3「学校は、お子さんのことについて相談しやすい。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は89.9%で、昨年度よりも約5ポイント高くなっていますが、さらに相談しやすい雰囲気づくり・体制づくりに努め、家庭や地域との連携をより一層推進したいと思います。

問4「お子さんは、学校の決まりを守って学校生活を送っている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は94.3%で、昨年度と同程度でした。規則の尊重につきましては、道徳の内容項目にもあり、決まりやルールを守ることの大切さや守らないことによる問題点等について学年の発達の段階に応じて、しっかりと考えさせながら、今後も継続した指導を行ってまいります。

問5「お子さんは、楽しく学校に通っている。」について

平均値が、3.53と16項目中で最も高い値を示しています。また、「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合についても97.1%と最も高く、昨年度よりも、2.1ポイント高くなっています。楽しさに加え、一人一人の児童に、自己の大切さやかけがえのなさを実感できるような取組の充実を今後も図っていきたいと思います。

問6「お子さんは、あいさつや適切な言葉遣いができている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は81.6%で、昨年度と同程度でした。あいさつは、お互いに気持ちよく生活をするための基本であり、人間関係を深めたり広げたりするための第一歩です。毎朝、放送委員会が行っている「あいさつレベル」の放送とも関連付け、あいさつの意義も含めて引き続き指導に力を入れて実践につなげたいと思います。ご家庭でもお声掛けをよろしくお願いいたします。言葉遣いにつきましては、国語科の学習に限らず、全ての教育活動の中で、適切な遣い方についてその都度指導していますが、徹底したいと思います。ご家庭でも、気になる言葉遣いをしている場合には、望ましい遣い方を考えさせ、訂正するようにしていただきますようお願いいたします。

問7「お子さんは、早ね、早起き、朝ごはんや、忘れ物や遅刻をしたりしない等の基本的な生活習慣が身につけている。」・問14「家庭では、お子さんに、基本的な生活習慣（早ね・早おき・朝ごはん・あいさつ・忘れ物に気を付ける・遅刻をしない）が身に付くように働きかけている。」について

基本的な生活習慣が身に付くように、ご家庭で積極的な働きかけをしてくださっていることに感謝申し上げます。基本的な生活習慣の定着は、生活リズムをはじめ今後の生活に大きく影響しますので、さらに定着化が図られるように、学校でも働きかけたいと思います。ご家庭でも、引き続きよろしくお願いいたします。

問8「お子さんは、進んで手伝いをしている。」について

平均値が2.81、「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は63.9%で、昨年度と同程度でした。発達年齢に応じたお家の手伝いは、将来、生活者として自立していくための基礎を培うよい機会です。5年生からは、家庭科を学習しますので、お手伝いから家庭での自分の仕事へとなっていくとさらによいです。そのような体験は、生活技能の定着に限らず、家族の一員としての自覚や家庭生活を大切にする心情へと繋がるものと思います。加えて、12月の学校通信でも紹介したように、「家事手伝い」等の体験が豊富な高校生ほど、「共生感」や「意欲・関心」、「人間関係能力」が高いという調査結果も出ています。学校でも働きかけていきますが、ご家庭でも毎日することや定期的にするなどの中から、お子さんと話し合われてできそうなことを決め、最初の内は一緒にしたり手本を見せたりしながら、できた時にはしっかりと褒めて徐々に一人でできることを増やすようにしてはいかがでしょうか。

問9「お子さんは、外遊びや運動を進んでしている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は77.5%で、昨年度より若干低くなっていました。体力は、心身の健康に不可欠であり、人間のあらゆる活動の源でもあります。特に、子どもの時期に活発な身体活

動を行うことは、成長・発達に必要な体力を高めることはもとより、運動・スポーツに親しむ身体的能力の基礎を養い、病気から身体を守る体力を強化し、より健康な状態をつくっていくことにつながります。学校でも、「体力アッププラン」に基づいて運動への関心を高め、体力向上に取り組んでいるところです。ご家庭でも、積極的な働きかけをお願いします。

問10「お子さんは、家でよく本を読んでいる。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合が44%で、昨年度よりも若干上がったものの平均値も最も低い項目です。本年度4月に6年生に実施した全国学力・学習状況調査で、「読書は好きだ」の間に対して肯定的な回答をした児童の割合が、全国平均を大きく下回り、「学校の授業以外で読書をする時間」を問う問題でも、1時間以上と回答した児童の割合は全国平均を下回り、約4人に1人の児童が「全くしない」と回答していました。そのため、読書への関心を高める取組を推進するとともに、家庭学習の中にも読書を取り入れるなどの取組を行い、2学期に全校児童に実施した「生活・学習アンケート」では、「読書は好きだ」の間に対して80%の児童が肯定的な回答をしています。読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。本への関心は高まりつつありますので、「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」・「家読（ウチドク）」をはじめ、今後は、読書活動を実践化・習慣化につなぐために、ご家庭の協力も得ながら、さらなる取組を進めていきたいと思えます。

問11「お子さんは、家庭学習（宿題や読書を含む）を毎日している。」・問16「家庭では、家庭学習（宿題・読書を含む）が習慣化するように働きかけている。」について

家庭学習については、ご家庭で積極的な働きかけをしていただいていることもあり、問11で「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は85.5%で、昨年度より23ポイント以上も高くなっています。本年度の全国学力・学習状況調査でも、「家で学校の宿題をしている」と答えた児童の割合は全国平均より高い結果となりました。しかし、「家で、自分で計画を立てて学習している」と回答した児童の割合は、全国平均よりも低かったため、家庭学習の課題の出し方を工夫したり、範となるノートを掲示したりするなど、発達の段階に応じて自主学習についても積極的に進めているところです。今後も、工夫を加えながら継続して進めてまいりますので、ご協力をお願いします。

問12「お子さんに基礎的な学力が身に付いてきている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は82.4%で、基礎学力が概ね身に付いていると思われる方が最も多くなっています。学力向上は、本校の重要課題であると全職員が認識し、授業形態や指導方法などを工夫し、授業改善に努めるとともに、朝自習の時間や給食の準備時間なども活用して学力の定着を図っています。また、家庭学習の定着化についても、学校通信等を通じて保護者の方々にご協力を仰ぎながら促進しております。今後も全職員が丸一となって、さらなる改善を図ってまいります。

問13「家庭では、お子さんをよく褒めたり、お子さんが他の人のよさや頑張りに気付くように働きかけたりしている。」について

本年度新たに設けた項目です。「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は81%で、多くのご家庭で、お子さんを褒めたり、他の人のよさや頑張りに気付くような働きかけをしたりして下さっていることに感謝申し上げます。褒められる経験や他の人のよさや頑張りを認めようとする気持ちは、自己肯定感や有る感や自信、さらには自他ともに大切にしていこうとする心へと繋がっていくものと考えます。学校でも、子どもの発達の段階に応じて継続した指導を行ってまいりますので、今後とも積極的な働きかけをお願いします。

問15「家庭では、テレビやDVDを見たりゲームをしたりする時間を決め、長時間に及ばないようにしている。」について

「十分達成している」・「概ね達成している」と回答された割合は65.1%で、2学期に全児童を対象に実施した「生活・学習アンケート」の中で、「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めてますか。」という間に対する回答とほぼ一致する結果となっています。テレビやテレビゲーム等の接触時間については、本年度も「全国学力・学習状況調査」や「生活・学習アンケート」から、本校は大変長いという結果が出ていることを受け、学校でも、生活時間全体を見直し、規則正しい生活の大切さや自由時間の過ごし方、長時間ゲームをすることによる様々な影響等についても、発達の段階に応じて指導をしています。しかし、その実践力を高めていくには、保護者の方々のご協力が不可欠です。今後とも継続してご協力いただきますようお願い致します。

2. 学校の教育についての感想・意見から

＜ よかった点 ＞ 学校の取組や職員への励ましのお言葉、子ども達の成長した具体的姿などをたくさんご記入いただきました。ありがとうございます。私たち職員一同励みになりますとともに、ご期待と信頼にお応えせねばという強い思いがしております。お子様の力をさらに伸ばすことができるよう、全職員で充実した教育活動に努めて参ります。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

- ❖ 自宅で先生の話や友達の話をよく聞かせてくれます。学校生活を楽しく過ごせているからだと思います。昼休みに子どもたちと先生が遊んでくださり、子ども達はとてもうれしいようです。休み時間まで気にかけていただき、ありがとうございます。
- ❖ 心配ごと、不安なことには先生が耳を傾けて下さって安心しています。逆に先生方の仕事が増え、心労、苦労が多いのではないかと心配です。先生方の仕事が少なくなり、負担が減ることを願っています。
- ❖ 担任の先生が、親身になってとても相談しやすいと思います（面談で）。学校での子どもの様子から、家庭での教育・育児の方向性をアドバイスいただけ、良いところを伸ばしてあげられている気がします。
- ❖ 1学期の時に指摘された不安要素が、2学期の時にはすべて改善されました。先生が子どものことをよく見て、声掛けや周りの友達にたくさん声をかけてくださった結果だと思います。
- ❖ 共働きで我が子に目が行き届かないのが現状です。担任の先生のお声かけに助けていただいています。
- ❖ 3人通っていますが、1人も嫌がらず登校しています。
- ❖ 子どもの持ち物の件で担任の先生に相談した際には、早期に対応していただけて安心しました。
- ❖ 連絡ノートに不安なことなどを質問させていただくと必ずていねいに返事して下さるので安心しています。
- ❖ 「ピッカリさん（人の良いところを見つけて発表する試み）」によって、どのような人にも注意して見る（探す）と良いところがあるということを学ばせていただき、ありがたく思っております。
- ❖ 冬休み前後あたりにやっていた生活ふりかえりのカードは、自主的に時間を決めたり、本を読もうとしたりすることができていたので良いアイデアだと思いました。
- ❖ 以前授業参観であった考え方の違いを話し合ったり、発表したりする授業。相手の意見の聞き方。
- ❖ 授業中、勉強以外のことをしているお子さんに注意している（きちんと教室中を見てくださっているなあと思いました）。
- ❖ 九九をとて真剣に取り組んでくださっていたと思います。
- ❖ 毎日の宿題で、家庭学習が習慣化しています。ありがとうございます。
- ❖ 毎日、音読の宿題があり、読む訓練ができて、とても力になっています。
- ❖ 音読を家でしているのでいいと思います。ぜひ続けてほしいです。
- ❖ 毎日の日記を書くことと読書をする宿題は、続けてほしいです。
- ❖ 宿題や授業内容が子どもの興味を引き出すよう工夫されていて満足です。また、昼休みに外遊びに誘って下さること（家庭では運動をなかなかできないので）もありがたいです。
- ❖ 宿題のプリントや音読は子どもに身に付いているので、今後も続けて欲しいです。
- ❖ 音読や暗唱課題は、今後に役立つことだと思うので良かったです。
- ❖ 次の週の時間割を学級通信で知らせてくださるので、必要な物も分かるし、授業の進みによって調整ができるのではないかと思います。先生は大変でしょうが、良い方法だなと感じました。
- ❖ 手書きのプリントは心がこもっていてうれしいので続けてほしいです。
- ❖ インフルエンザ、風邪の広がりを防ぐ為に、体育館ではなく放送を使って各教室で終業式など行っているところ。
- ❖ インフルエンザで欠席した時、毎日電話をいただき、親子共々うれしかったです。学級だよりにより、とてもクラスのことをよく分かりありがたいです。先生は大変だと思いますが…。
- ❖ オリンピックマスコット決めに参加していたこと。

- ❖ 給食を全部食べた時にもらえるシールを喜び、苦手な物でも「頑張ろう」と前向きになりました。現在の指導を信念をもって一人一人の大人（先生）が取り組み続けてほしいと思います。

＜ 改善点 ＞ご意見をいただき、ありがとうございました。すぐに生かしたい・取り入れたい・既に行っていることを◎、時間を少しいただいて着実に成果をあげられるよう取り組みたいことを○で表しています。

- ・ 担任の先生のお時間が許せるのならば、学級通信などで子どもの様子を発信していただけると有難いです。
- ↳ ◎ 学級通信に限らず、様々な方法で学校での様子が分かるようにしたいと思います。学校通信でも、学校行事や学年行事、特色ある教育活動等を取り上げて、保護者や地域の方々にお伝えするようにしていますが、さらに工夫したいと思います。なお、学校通信につきましては、学校のホームページにもカラー版を掲載していますので、そちらでもご覧いただくことができます。
- ・ 何でも匿名にしすぎでは？と思います。旗持ちの名簿などととても見にくいです。陸上記録会の入賞者が匿名になっていたのはとても残念です。がんばって成果を出した子どもはみんなで褒めてあげたいと思います。毎年、知り合いや近所の子どもの名前がのっていた時は、すごいね!!と声をかけてあげられていました。
- ↳ ○ 先ずは、後半部分に書かれている他のお子さんの頑張りをしっかりと認め、褒めようという気持ちを持たれ、実行して下さっていることに感謝申し上げます。学校通信に児童名を載せていないことにつきましては、個人情報保護の観点から、全ての保護者の方々からの承諾を得ることが難しい状況もありますことをご理解いただければと思います。
- ・ 学校・家庭での生活習慣を身に付けるため、低学年は「カード」など、ゲーム感覚で楽しみながら実践していけるような工夫をしていただけると、学校と家庭が連携して生活習慣に関連した教育ができるかなと思いました。
- ↳ ◎ <よかった点>のご意見の中にありましたように、冬休みに実施した「家庭生活・家庭学習ふりかえりカード」の活用など、発達の段階に応じた働きかけを検討したいと思います。
- ・ 漢字や計算、文章問題などの宿題をもう少し増やしていただきたいです。
- ↳ ◎ 漢字や計算の定着のためには、反復練習が欠かせません。そのため、学校でも授業時間だけでなく、朝自習の時間や宿題としても繰り返し行うようにしてはいますが、宿題として出す量や内容について検討したいと思います。また、それらを活用する機会として、国語や算数の時間に限らず、いろいろな教科等での書く活動の際に今まで以上に意識化を図りたいと思います
- ・ 子どもの自主性を高めるための自学とは思いますが、教科書や本などを丸写しのようなときもあるので、力がつくようにしていただきたいです。
- ↳ ◎ ご承知のように、自学につきましては、学年の段階にもよりますが、常に決められた宿題という形だけではなく、自分のために、自分で決めて、自分で学習し、自分で力を伸ばしていくことをねらいとしています。それを充実させるためには、子どもの発達段階や実態、学習内容等を考慮するとともに、自学のよりよい具体例も示すことが大切であると考えます。そのため、家庭学習ハンドブックに示された例を紹介したり、モデルとなる自学ノートを掲示したりしていますが、日によって教科やテーマを絞るなど、実態に応じた工夫を行い、さらに充実するようにしていきたいと思います。
- ・ もっともっと本にふれあう場を作って頂きたいです。読み聞かせ、音読、群読などいろいろな形で取り組んでほしいです。
- ・ 宿題など決められたことは守ろうと努力ができていますが、読書は決められた時間がないので、1週間に本を○冊読む、1日○時間読む…を宿題にしていただけたら読むようになると思います。
- ↳ ○ 問10に記載した実態を受け、図書委員会による「読書貯金」活動やボランティアの方々による読み聞かせをはじめ、音読暗唱ブック「ひまわり」の活用促進、「家読（ウチドク）」の推進など、様々な働きかけを行っていますが、それらをさらに工夫しながら進めていきたいと思っています。特に、「家読（ウチドク）」につきましては、ご家庭でもご協力をお願いします。

・ あいさつをする児童が少ないので、進んであいさつができる児童になってほしい。

↳◎ 問6にも書きましたが、あいさつは、お互いに気持ちよく生活するための基本であり、人間関係を深めたり広げたりするための第一歩です。学校でも、あいさつの意義も含め、度々指導を繰り返しております。また、7月の学校通信でもお知らせしましたように、計画委員会や放送委員会の児童も呼びかけを行っています。しかし、私も毎朝通学路に立って声掛けをしています。徹底できていないと感じることもあります。引き続き指導に力を入れていきますので、ご家庭でも、範を示しながらお声掛けをしていただくと幸いです。

・ お手伝いも宿題に入れていただくと有り難いです。

↳◎ 手伝いにつきましては、問8に記載していますように、最終的には、家族の一員としての仕事を自主的にできるようになってほしいと思います。しかし、発達の段階や実態によっては、初めの内は宿題（特に休日前）という形にしたり、冬休みに実施した「家庭生活・家庭学習ふりかえりカード」のように、することの項目の一つとして入れたりすることも必要かもしれません。検討してみます。

・ 困難に直面した時、どうやって乗り越えるか、考える力を養うことができるような授業をしていただきたい。

↳◎ 様々な困難を乗り越えていく力は、生きていく上で必要不可欠な力です。困難の内容や度合も様々あると思いますが、道徳の時間をはじめ、いろいろな学習場面や生活場面で考えさせていくことが大切であると思います。また、本市には、市教委作成の「北九州つながりプログラム」（対人スキルプログラム）があり、日常生活でありがちな場面を取り上げ、望ましい言動や対応の仕方等について具体的に考えていくような学習も行っています。その中で、スクールカウンセラーの先生に入っただいて授業をすることもあります。今後も、生きていることの喜びや有難さ、多くの人々の支え、かけがえのなさなどに気付かせながら、そのような力を養い、生き抜く力を育てていきたいと思っています。

・ 先生方の言葉の言い回しがキツク感じられることがあるように聞きます。

↳◎ 私自身も含め、気を付けていきたいと思っています。

・ インフルエンザ流行中は、他のクラスや学年の学級閉鎖等の情報も知らせてくださると助かります。

↳◎ インフルエンザ流行中は、学級閉鎖の状況（新たに学級閉鎖をしたり延長したりした学級や期間など）を「いっせいくん」でお知らせしたいと思っています。ただし、当該学級の保護者への連絡や学級閉鎖が決定した日に児童が早帰りするにあたっての対応などが最優先ですので、他の学級・学年へのお知らせは、その後になりますことをご了承ください。

・ 1年に1～2回でもよいので、3年生頃から6年生までの間に、松ヶ江北小学校や伊川小学校の児童との交流を学年単位で実施できないでしょうか。中学で、すぐに友達になりやすく、協力しやすくする為に。

↳◎ 松ヶ江北小学校や伊川小学校との交流につきましては、5年生はバスケットボール大会、6年生は陸上記録会の前に実業団の陸上部の指導者を招聘して「走り方教室」を合同開催して、交流の機会をもっています。3・4年生については実施していませんが、内容や費用、時間等の面で可能な場合は検討していきたいと思っています。

・ メールの不審者情報は本当に不審者なのか疑問に思います。

↳◎ 不審者情報につきましては、児童の安全確保や再発防止の注意喚起のため、警察に通報され保護者が了解された場合にお知らせしています。警察に通報されるとパトロールを強化して下さっています。

本校の教育活動改善のために、様々な点からご意見を頂戴し、ありがとうございました。いただいたご意見を参考に、松ヶ江南小学校のよりよい学校教育の推進に役立ててまいりたいと思います。今後とも、温かいご理解とご協力をよろしくお願い致します。なお、バザーに関するご意見につきましては、PTA行事であることから、PTA役員会等でお伝えしたいと思います。